

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	M.K	学部・学科	医学部看護学科
学年	3年	派遣国	大韓民国
派遣大学	淑明女子大学校		
期間	2022年 9月 1日～ 2023年 6月 31日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / <u>2人部屋</u> / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (25000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	40000 円	
学用品購入費	2000 円	
交通費	3000 円	
交際費	10000 円	
その他	4000 円	通信費
合計	59000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

監視カメラがそこら中にあるので、夜も一人で出歩くことができます。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(114,380) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (ソウル)
韓国の首都です。大学があるのは、ソウルの中心に位置するソウル駅の周辺であり、近くに繁華街はありませんが、ホンデ・カンナム・梨泰院など、どこの街にも行きやすい位置にあると言えます。

【学業編】

1. 大学情報

大学	淑明女子大学校	所在地	ソウル特別市ヨンサン区
最寄空港	金浦空港	空港からの距離	電車を使い 40 分
空港⇄大学	(金浦空港→空港鉄道→ソウル駅→バス→大学) *移動手段		
学生数	13000 人程度	留学生数	200 人ほど
学部	文科大学 理科大学 工科大学 生活科学大学 社会科学大学 法科大学 経商大学 音楽大学 薬学大学 美術大学 基礎教養大学 グローバルサービス学部 英語英文学部 メディア学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	グローバルコーポレーション *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			Exercise and Diet Basics 11:00-12:50		
午後	Korean III 16:30-17:45	Entrepreneurial Marketing 15:00-16:15	Korean III 16:30-17-45	Entrepreneurial Marketing 15:00-16:15	English and Intercultural Communication 12:00-14:50

② (3)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前				Pilates Basic 9:00-10:50	Taekwondo & Korean Sports Culture 9:00-11:50
午後	Multi-cultural Globe 15:00-16:15	Introduction to Development Studies 12:00-13:15 Korean IV 16:30-19:20	Multi-cultural Globe 15:00-16:15	Introduction to Development Studies 12:00-13:15	

3. 履修内容

科目	English and Intercultural Communication		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションである「異文化間コミュニケーション」について学ぶ。 事前に教科書の指定された部分を読んで、内容についての考察を個人でまとめる。授業ではその内容を基にグループでプレゼンを用意し、発表をする。		
成績	A0		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Korean Language for Foreigners III		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	TOPIK2 級以上の韓国語能力を持つ学生向けの留学生のための韓国語授業で、中級レベルの韓国語コミュニケーション能力向上を目指す。 一斉授業、グループワーク。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Entrepreneurial Marketing		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	マーケティングの基本的な概念を理解し、起業家的ビジネスのために従来のマーケティングに代わるアプローチを開発することを学習する。 一斉授業。		
成績	A0		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Exercise and Diet Basic		
履修期間	秋学期	単位数	2
授業内容／形態	<p>規則的な身体活動と運動の効果、健康的な生活様式のための戦略と正しい栄養摂取に関する理論的知識を習得する。</p> <p>一斉授業、時々実習がある。</p>		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Multi-cultural Globe		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	<p>「移民」に焦点を当てながら、ニューカマーとネイティブの交流の類型を理解し、「グローバル化」した世界において、社会・国家として、どのように交流するのかを理解/考察する。</p> <p>学期前半は教授による、「アメリカへの移民」に関する講義。後半は、学生がグループを作って調べ学習を行い、移民するに至った経緯と、その後の適応について、2度のプレゼンテーションを行う。</p>		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Introduction to Development Studies		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	<p>発展途上国の国々が直面するような固有の問題、課題、解決策を探る。</p> <p>様々な理論の歴史的展開と現在の位置づけを理解し、その価値を検証する。</p> <p>毎週火曜日は各自映像と資料を見て学習し、その内容に関して、木曜日に全体でディスカッションを行う。</p>		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		

	単位数	
	担当教員	

科目	Korean Language for Foreigners IV		
履修期間	春学期	単位数	3
授業内容／形態	TOPIK 3 級以上の韓国語能力を持つ学生向けの留学生のための韓国語授業で、TOPIK 4 級レベルのコミュニケーション能力を備えることを目指す。 一斉授業、グループワーク		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Pilates Basic		
履修期間	春学期	単位数	2
授業内容／形態	ピラティスによって、身体を強化する。 <授業形態> 実技		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Taekwondo & Korean Sports Culture		
履修期間	春学期	単位数	2
授業内容／形態	テコンドーを通じて韓国文化を理解し、体験し、一般的なスポーツ文化と韓国固有のスポーツ文化、一般的なスポーツと武道の違いや共通点を比較する。 <授業形態> 実技		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		

	单位数	
	担当教員	

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	M. K	学部・学科	医学部看護学科
学 年	3 年	派遣国	大韓民国
派遣大学	淑明女子大学校		
期 間	2022 年 8 月 24 日～ 2023 年 6 月 28 日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	English and Intercultural Communication
講義内容	異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションである「異文化間コミュニケーション」について学ぶ。
科目	Entrepreneurial Marketing
講義内容	起業家的ビジネスのための従来のマーケティングに代わるアプローチの開発について学ぶ。
科目	Multi-cultural Globe
講義内容	「移民」に焦点を当てながら、ニューカマーとネイティブの交流の類型を理解し、「グローバル化」した世界において、社会・国家として、どのように交流するのかを理解/考察する。
科目	Introduction to Development Studies
講義内容	開発学について、様々な理論の歴史的展開と現在の位置づけを理解し、その価値を検証する。
科目	Korean Language for Foreigners IV
講義内容	TOPIK 4 級レベルのコミュニケーション能力を備えることを目指す。
科目	Exercise and Diet Basic
講義内容	規則的な身体活動と運動の効果、健康的な生活様式のための戦略と正しい栄養摂取に関する理論的知識を習得する。

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

まずは、言語についてです。留学当初は、特にディスカッションを行う授業において、負い目を感じ、英語を喋る時に若干パニックになることもあったのですが、周りの人たちはあまり私のスピーキング力を気にしておらず、余裕のある人であれば、少々遠回しな表現を使って時間がかかったとしても、しっかりと受け止めてくれることに気づき、むしろそんなことを気にするよりも、自分ならではの視点をどこに見出せるかという事を意識しながら発言することが大切だと思い、留学中は語学力がどんなレベルであったとしても、とりあえず自信を持って自分の出来ることに精一杯取り組むことが大切だと感じました。ただ、不完全の英語のままで良いと感じたわけではなく、少なくとも誤解が生じないような正確性や、知識が必要だと思いました。また、英語が第一言語の人は、時々英語が苦手な人に対する配慮が、他の人に比べて少ないと思い、将来医療者として、様々なバックグラウンドを持った人と話すうえで、グローバル言語としての英語を身につけていきたいと感じました。具体的には、相手のレベル感に合わせた語彙の選択や、誤解の生じないような丁寧な説明、話すだけでなく、資料なども渡して目でも内容を追えるようにするなどの配慮も行えるようになりたいと思います。

留学に行ったことで、第二・第三外国語の学習にもさらに意欲が芽生えました。留学に行く前は、あくまでも、就職活動時などにアピールできる、自分の中のスキルの一つと考えていたのですが、留学先で数か国語を操る人や、私に対して日本語で話しかけてきてくれる人に出会った事で、色々な言語を使える人の、人としての魅力を直に感じました。以前はスキルとして考えていたので、ライティングやリーディングの高い能力を目指さなければならぬと、言語学習がやや負担に感じていましたが、もっと人との交流を楽しめるレベル感で、様々な言語に触れてみたいと思いました。

2点目は、国際人としての振る舞いについてです。留学中は、グループワークの時にあまり不快さを感じる事が少なく、また、友人を作る時も芽づる式にどんどんと輪が広がっていったという感じなのですが、その背景には、他の国から来た留学生たちの、オープンに受け入れる態度があるのではないかと思います。留学中はグループワークが多く、なかなか難しい場面もたくさん出てくるのではないかと考えていたのですが、皆が初回から積極的に発言をし、先輩や後輩などのしがらみ関係なく、対等に良いと思う所は認め合う姿勢があったので、私としてはとてもグループワークをやりやすい環境であると感じました。また、友人関係については、ルームメイトの誘いについていくと、全く出会ったことのない人がいるという事が日常茶飯事だったのですが、初対面でも、ぎこちなさを感じさせることなく、私を友人の一人として受け入れてくれるので、そういった姿勢も、幅広く人とつながる上でとても大切だと感じ、もちろん日本の文化がやや違う事は理解していますが、仕事をする上では、様々な人との新しい出会いや、彼らとの協同作業は避けて通れないので、向こうからも、「この人とは、働きやすい」と感じてもらえるような人になりたいと思いました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

まずは、私がもともと興味があり、目標にしていたことである、多言語習得や、国際的な人材としての成長という面に関して、将来の理想像や、そのために達成しなければならないことが、今回の留学を通してより明確になったので、それに向かって引き続き精進していきたいと思います。

また、将来の職業との関連については、どのようにつながっていくか、正直今の段階では、分かりません。留学前は、将来看護師になって、留学の経験も活かすことができると考えていたのですが、日本の大半の病院では、外国人患者は増加傾向にあるものの、看護職員に対して言語や国際性といった側面が、看護の専門性と比較して、あまり求められていないという現状があり、自分のスキルが十分に発揮されるような職場ではないのではないかと感じています。留学先で、大学卒業後に、一般企業に就職するだけではない、様々なキャリアの描こうとしている人たちに会い、より私自身の中でも、看護師という職業や、何か一つの企業にこだわる必要もないのかなと感じ始めていた所なので、もう少しこの二つの分野が上手く交わるような場を色々探してみようと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学中の生活を楽しむうえで、特に大切だと強く感じたことは、語学などの入念な準備です。私自身は、新型コロナウイルスの影響で渡航を一年間延期したため、留学前の1年間、英語や韓国語のスピーキング力の向上に時間を使うことができたのですが、留学生生活を振り返ってみると、もし一年間延期していなかったときの状態で留学をしていたら、得られるものや楽しめるものが全く異なっていたと感じます。英語でのプログラムなので、韓国語能力は必須ではありませんが、生活するうえで、韓国人との交流は避けることができないので、出来ると、より現地の方とも良い関係を築くきっかけになって良いのではないかと、個人的には感じています。

また、どんなことでも、機会に巡り合ったら、とりあえず参加してみるのをおすすめします。留学の始めのころは、授業で出会った人とも、放課後に遊びに行くような仲にはなかなかならず、どのように友人を作ればよいのか戸惑っていたのですが、寮のグループラインでの誘いに、勇気を出して顔を出してみたところ、たまたま同じ授業の人がいて、そこから親しくなることができました。チャンスはどこにあるか分からないので、少し慣れないものや不安なものでも、まずは挑戦してみると、意外な結果が待っているかもしれません。